



第95回天皇后杯・第86回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会
ファイナルラウンド

開催場所: さいたまスーパーアリーナ Mコート

試合区分: No. 307 男 男子決勝

期 日: 2020(R02)年1月12日(日)

クルーチーフ: 加藤 誉樹

開始時間: 14:08 終了時間: 16:02

アンパイヤー: 漆間 大吾、片寄 達

サンロッカーズ渋谷	○ 78	● 73	川崎ブレブサンダース
-----------	---------	---------	------------

サンロッカーズ渋谷

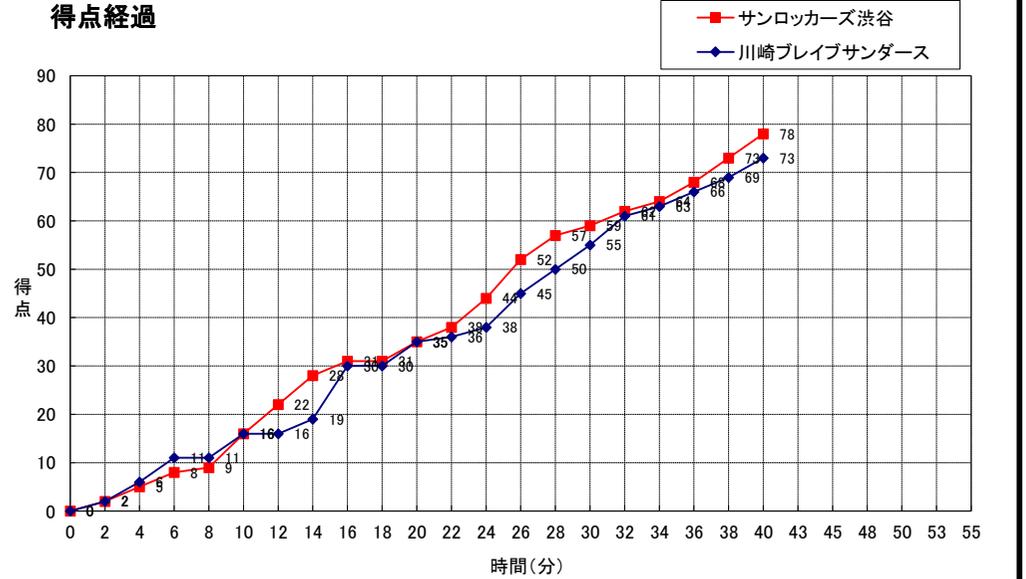
No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
1	*	関野 剛平	3	1	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	13:07
2	*	セバスチャン・サイズ	22	0	0	11	13	0	0	2	3	8	11	2	0	2	0	36:36
3		ファイ サンバ	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1:49
9	*	ペンドラム 礼生	13	2	7	2	10	3	4	1	0	1	1	2	4	2	0	23:46
14		杉浦 佑成	9	3	5	0	1	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	13:32
16		渡辺 章之佑	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	8:25
23		野口 大介	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3:34
24	*	広瀬 健太	5	1	1	0	1	2	2	1	2	3	5	2	3	0	0	13:01
27		石井 謙祐	4	0	1	1	1	2	2	0	0	0	0	0	3	3	0	19:30
32		山内 盛久	9	2	2	1	3	1	2	2	0	2	2	1	3	0	0	15:59
34	*	ライアン・ケリー	6	0	6	1	6	4	6	2	1	5	6	1	5	0	0	38:01
44		盛実 海翔	2	0	2	1	1	0	0	1	0	2	2	0	3	0	0	12:40
73		田渡 修人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
HC		伊佐 勉 / TEAM	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	1	1				
合 計			78	10	27	18	38	12	16	18	8	27	35	10	21	9	0	200:00
				37.0%		47.4%		75.0%										

川崎ブレブサンダース

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
0		藤井 祐真	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
3		林 翔太郎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
4		青木 保憲	3	0	2	1	1	1	2	3	0	2	2	2	3	0	0	16:52
7		篠山 章青	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11		増田 啓介	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	*	辻 直人	23	4	8	2	2	7	9	2	0	2	2	2	3	1	0	33:28
18		鎌田 裕也	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
22	*	ニック・ファジーカス	26	2	6	8	12	4	6	2	8	10	1	7	1	1	0	40:00
23		ジャマール・ソープ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4:09
24		大塚 裕士	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	7:59
27	*	熊谷 尚也	2	0	2	1	3	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	26:38
33	*	長谷川 技	1	0	6	0	0	1	2	3	0	5	5	0	3	1	0	30:54
35	*	ジョーダン・ヒース	18	2	8	5	7	2	4	2	5	10	15	2	1	0	1	40:00
HC		佐藤 賢次 / TEAM	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5	2					
合 計			73	8	35	17	25	15	23	16	10	30	40	12	18	3	2	200:00
				22.9%		68.0%		65.2%										

PTS: ポイント M: 成功数 A: 試投数 %: シュート率 FG: フィールドゴール 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル OR: オフenseリバウンド DR: ディフェンスリバウンド TOT: トータルリバウンド TO: ターンオーバー AS: アシスト ST: スティール BS: ブロックショット MIN: 出場時間 S: スターター OT: 延長

得点経過



ゲームレポート

【総評】

第95回天皇后杯決勝戦は、6年ぶり4回目の優勝を狙う川崎ブレブサンダースと、5年ぶり2回目の優勝をめざすサンロッカーズ渋谷の対戦。天皇后杯決勝の舞台で初めてあいまえる両チームは、ともに激しいディフェンスから一進一退を繰り返しながら、最後まで結末のわからない好ゲームとなった。試合当初こそ互いのディフェンスにシュートを決めきれなかったが、川崎は#33ファジーカス、#14辻を中心に加点。渋谷は#24広瀬や#14杉浦の3ポイントシュート、#9ペンドラムの効果的なドライブなどで得点をあげ、前半を同点で終了。渋谷は後半開始早々#1関野の3ポイントシュートでリードを奪う、ディフェンスでは川崎にプレッシャーをかけ続けてミスを誘うなど、渋谷の4点リードで最終クォーターへ。第4クォーターに入り、川崎も#14辻、#35ヒースの3ポイントシュートなどで残り4分に逆転に成功するが、渋谷は#32山内の3ポイントシュートですぐさま再逆転。残り1分を切って1点を争う攻防のなか、渋谷がフリースローを決めきり、78-73で激闘を制し、前身の日立サンロッカーズ東京時代を含めて5大会ぶり2回目、令和初の戴冠となった。

【第1クォーター】

両チーム、相手の厳しいディフェンスの前にシュートを決めきれず、ロースコアの展開となる。その中でも川崎は#22ファジーカスのジャンプシュートなどで得点を重ねると、渋谷は#24広瀬、#14杉浦の3ポイントシュートなどで対抗。互いに主導権を譲らないなか、終了間際に川崎は#22ファジーカスが、渋谷は#16渡辺が3ポイントシュートを沈め16-16の同点で第1クォーターを終了。

【第2クォーター】

開始早々、渋谷がオールコートでディフェンスから仕掛けると、川崎はボール運びでミスを連発。開始2分で渋谷はスティールからの速攻など連続6得点で22-16とリードを奪う。しかし、川崎もタイムアウト明けに#14辻が3ポイントシュートをねじ込むと、#35ヒースの連続7得点などで反撃。互いに流れを渡すことなく、終盤、川崎は#22ファジーカスの3ポイントシュートで逆転するも、渋谷は残り4秒#2サイズがダンクを叩き込み再び同点とし、35-35で前半を終了した。

【第3クォーター】

渋谷は#1関野の3ポイントシュートで先よく得点をあげると、#23野口、#14杉浦らが確率よくシュートを沈めてリードを奪い、試合を優位に進めていく。川崎は渋谷の厳しいディフェンスに晒されながらも、#14辻のドライブ、#22ファジーカスのシュートなどで粘り強く加点し、渋谷が大量リードは許さず。59-55と渋谷の4点リードで最終クォーターへ。

【第4クォーター】

序盤、川崎が#22ファジーカスの1対1で得点をあげると、渋谷も#9ペンドラムが3ポイントシュートを沈め一歩も譲らない。渋谷リードで試合が進む中、川崎は#14辻、#35ヒースの2本の3ポイントで、残り4分68-69と逆転に成功。しかし、渋谷も#32山内が3ポイントシュートを入れ返し、再逆転。1点を争う緊迫した展開で最終盤へ。渋谷が2点リードの残り17秒、74-72と場面で川崎は#14辻がフリースローを獲得するも、1本しか決められず。74-73。残り10秒、渋谷は#27石井がフリースローを2本沈めて76-73と3点のリードとする。残り2秒、川崎はスローインから#14辻が同点の3ポイントシュートを狙うもこれが外れ万事休す。残り1秒、渋谷は#24広瀬がフリースローをきっちり決めて、78-73と思詰まる接戦にギリギリを渡った。渋谷が5年ぶり2回目の優勝に輝いた。

担当者: ()

公益財団法人日本バスケットボール協会